

え に わ し み ど り き ほ ん け い か く
恵庭市緑の基本計画

は ん
【こども版】



え に わ し み ど り き ほ ん け い か く
恵庭市緑の基本計画のテーマ

み づ み ど り
水と緑ゆたかな
“やすらぎのあるまち”



え に わ し
恵庭市

● 緑の基本計画ってなに？

□ 緑に関わるまちづくりの教科書を作ったよ

目的

恵庭市では、まちの今後10年の未来への計画として『第4期恵庭市総合計画（計画期間2006～2015年）』を策定しており、「水・緑・花 人がふれあう生活都市えにわ」を目標としています。

『緑の基本計画』はこの目標の実現に向けた、まちの緑全体に関する計画です。

恵庭市の森や草木などを未来に残すために、市民のみなさんと事業者（会社やお店など）と恵庭市が一緒に、どこにどのように増やしていけばよいのかが書かれています。

緑が持つ様々な役割のなかでも「まちの環境を守る」、「親しみや楽しみ」、「まちを災害から守る」、「美しい景色を守り、育てる」の4つの考えを「生き物との共生（生物多様性確保）」とともに考えていく計画です。



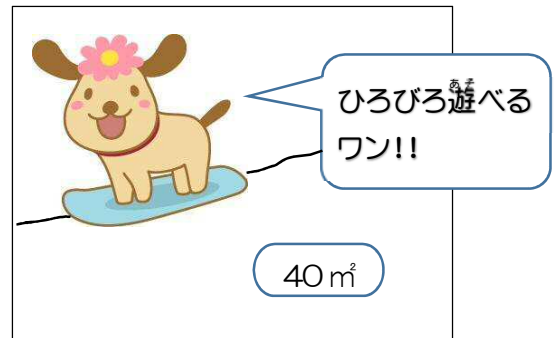
そもそも緑って？

空地や川原や公園、みなさんの学校やいつも使っている道路など、身近な場所に生い茂っている様々な木や植物が緑です。



計画の目標設定!!

緑の中でも、みんなの大好きな公園の面積は、市民一人当たり約27 m²です。10年後の目標を一人当たり約40 m²に設定し、計画的に緑を増やしていきます。



みどり 緑を守るために目指そう！

□ 恵庭市の緑の将来像を決めたよ

目標

「恵庭（恵まれた庭）」という名にふさわしい、美しく安らぎのある「まち」にするための目標や取り組みを明確にし、計画を進めていきます。

《テーマ》

『水と緑ゆたかな“やすらぎのあるまち”』

この緑の将来像の実現のためには、みなさんの協力が必要です。下に示す3つの目標を守り、緑や水辺、花などにふれあうことのできる水と緑のネットワーク（つながり）をつくりましょう。

3つの目標を
まもっていきこう!!



* 低炭素化ってなに？

二酸化炭素が増えて地球温暖化が進むと、海面が上昇したり、台風や洪水などの災害が増えたり、危険な病気が増えたり、動物達も死んでしまうといわれています。

植林、節電、節水、3R（リユース・リデュース・リサイクル）をすると二酸化炭素の出る量を少なくすることができます。これを低炭素化といいます。

みどり 緑を まもろう

● 現在ある緑を守ることは、緑を増やしていくための基本となります。

● そのために、自然環境の豊かな林や川原のほか、公園や学校の緑を守り、未来の子供たちに引きついでいきましょう。また、自然と共生し、まちの*低炭素化を進めましょう。

みどり 緑を ふやそう

● 緑を増やすことは、この計画でとても大切なことです。

● 公園の整備、道路や学校等の緑化、工場やお店等と緑化を進めましょう。

● そのために、公園などの施設に花や木を植えて、愛着を持って、大切に使いましょう。

みどり 緑を そだてよう

● 花と緑を通して、いろいろな人とお話ししたり、教えたりすることは、美しいまちを育てていくうえでとても重要なことです。

● そのために、みなさんと市役所が協力し、花と緑を広めたり教えたりする人を育てていき、たくさんの緑を増やし育てていきましょう。

● 緑の役割ってなに？

□ 緑にはどんないいことがあるのかな？

では、なぜ緑が大切なのでしょう？

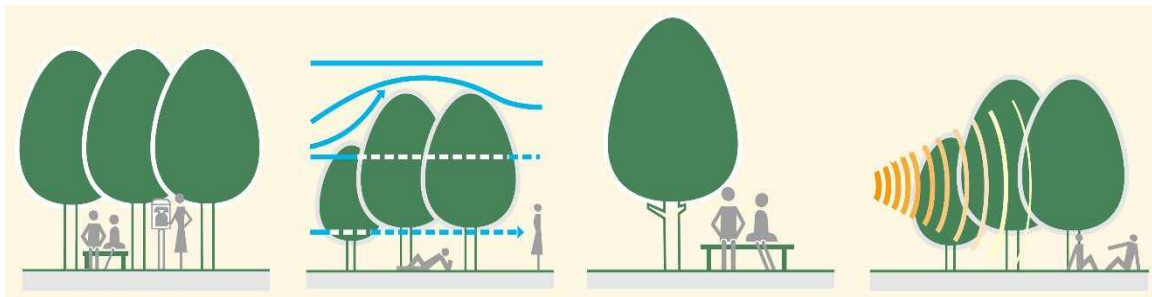
緑には下に示すいろいろな効果があり、人や生き物に対し生活や潤いを与えてくれます。また、快適に生活することができるだけでなく、時には台風や吹雪、火災などの災害からみなさんを守ってくれます。



緑にはいろいろな効果があるんだね。身近過ぎて気が付かなかったよ。

● 緑のいろいろな効果

緑は私たちの生活に必要な、いろいろな効果を持っています。

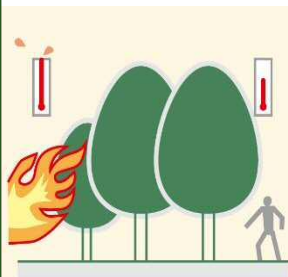


街を美しく
みせます

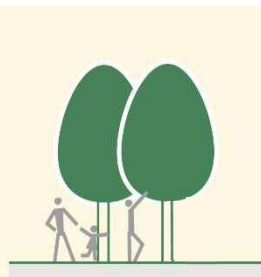
風の力から
街を守ります

都市の温度を
快適に保ちます

騒音から生活を
守ります



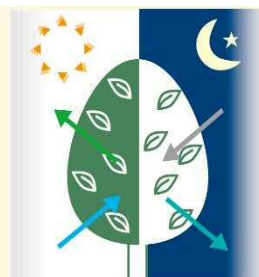
災害から市民を
守ります



市民に安らぎを
与えます



様々な生き物が
すみます



酸素をつくり
空気をきれいにします



洪水を防止し
生活を守ります

● 生物多様性確保ってなに？

□ 生物多様性確保のための緑の増やし方を考えよう！

恵庭市ではこれまでも市街地内を流れる川を大切に、水辺の動物や植物の生活空間を守ることに取り組んできました。これからも生物多様性の確保のための緑の増やし方を考えます。

□ 生物多様性確保の目標！

生物多様性とはたくさんいる生き物や植物のつながりとバランスのことです。

みなさんの近くを流れる川はやがて海につながり、そして海から帰ってくる生き物もいます。どこかでそのバランスが崩れるとその生き物はいなくなったり、帰って来られなかったりします。みなさんを含め、どこかでだれもが生物のバランスに関係しているのです。

ペットとして飼った外来種（ほかの場所からやってきた生き物）などを、飼えなくなったり、かわいそうだからといって山や川に、逃がしてはいけません。

アライグマやウチダザリガニ、ミシシッピーアカミミガメ（ミドリガメ）などは、昔からすんでいる生き物に大きな影響を与えており、バランスを崩してしまいます。

バランスを確認するため、ぼくたち私たちににとっては身近な存在でありながら、都会ではあまりみることができない生き物を選び観察しましょう！！



● 生物多様性確保の目標種

● サケ及びサクラマス（ヤマメを含む）

- 漁川をはじめ、市街地で産卵が見られる魚類です。
- 漁川の「いざり」は、サケ・マスが産卵のために掘る穴を意味するアイヌ語「イチヤニ」に由来しています。



● エゾリス

- 恵庭公園や中島公園などで見ることができる小動物です。
- 恵庭公園ととなりの緑地をつなぐ橋「エコブリッジ」があります。これは、恵庭公園を源流とするユカンボシ川の河川空間をつなぎ、リスをはじめとする小動物が行き来できるよう考えられています。



しゃしんでいきょう いっぱんしゃだんほうじんりゅういきせいたいけんきゅうしょ せおゆうじし
写真提供：一般社団法人流域生態研究所 妹尾優二氏

● 緑のネットワークってなに？

□ 緑をつなげていこう！

公園や防風林、川原を含む河川、それに街路樹のある緑豊かな道路をつなげると、サケやエゾリスなどの生き物は、まちじゅうに移動することができるようになります。これを緑のネットワーク（つながり）といいます。



● みんなでがんばろう！

恵庭のまちには漁川、茂漁川、恵庭溪谷などたくさんの自然があります。まちの中にもたくさんの自然が残っています。そこには市の鳥であるカワセミをはじめ、エゾリス、キツツキなどたくさんの生き物も暮らしています。みなさんもその自然の一部であることを自覚し、これからもその大切な自然を守り育てていきましょう。

みどりを
まもろう

みどりを
ふやそう

みどりを
そだてよう

みどりがたくさんある
と空気がおいしい
ワン！

えにわん

(恵庭市移住・定住支援サイトオリジナルキャラクター)

窓ぎわに花をかざろう

庭やベランダに
花や木を増やそう

花とくらし展にいこう

公園で元気に遊ぼう！

学校の花や木を
大切に育てよう

自然観察会や
清掃活動に参加しよう



はくせん たき
白扇の滝



みち かわ えき はな
道と川の駅 花ロードえにわ



え にわ だけ
恵庭岳



めぐ の まち な
恵み野の街並み



めぐ の ちゅうがっこう
恵み野中学校

え にわ し みどり き ほん けい かく 【こども ばん】 (へいせい ねん がつ)
恵庭市緑の基本計画 【こども版】 (平成27年3月)

え にわ し き かく しん こう ぶ まち づ くり すい しん か
恵庭市 企画振興部 まちづくり推進課

〒061-1498 え にわ し きょう まち ばん ち
恵庭市京町1番地

TEL : 0123-33-3131

FAX : 0123-33-3137

HP : <http://www.city.eniwa.hokkaido.jp>

メールアドレス machi@city.eniwa.hokkaido.jp

※こども版作成にあたり、めぐ の あさひ しょう がっこう せんせい きょうりょく
恵み野旭小学校の先生にご協力いただきました。